

第2学年国語科

「知りたいこと発見！資料を読み比べて生き物の飼い方を調べよう」

学習指導者 石田 真理

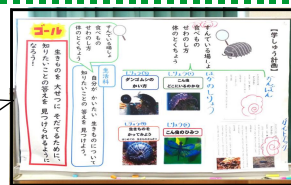
単元の概要

生活科で、生き物をうまく育てられなかった経験と道徳科での命の大切さについての学習を想起し、生き物の世話の仕方について知らなければならないという必要感を高め、「生き物を飼うために、知りたいことを見付けられるようになる」という単元の目標を設定した。そして、複数の資料の題名、見出し、本文に着目し、読み比べながら知りたいことの答えやその見付け方を捉えていった。

課題設定

単元の目標達成に向けて作成した学習計画を補助黒板に掲示しておくことで、前時までの進捗状況を捉えやすくし、目標達成に向けて、まだできていないことの中から本時取り組むべき課題を設定した。

前の時間は住んでいる場所や食べものについて見付けたけれど、世話の仕方はなかったね。他の資料も探してみよう。



他の資料からも知りたいことの答えを見付けよう

解決の見通し

前時の板書を掲示し、どの『読みの技』が使えるか教師が問いかけることで、『知りたいことにつながるのある言葉を探す』という技が使えると考えた。また、教師が全ての資料の見出しを一つずつ読んでいけばよいか問いかけることで、見出しを見る前に題名からも知りたいことにつながるのある言葉を探して資料を選べばよいという見通しをもち、課題解決に向かっていった。



解 決

交流する際には、交流のモデルを教師が実演することで、交流する手順を捉え、それを基に、着目したところや見付けた答えを伝え合う姿が見られた。また、資料ごとに交流スペースを設けることで、自分が調べている資料に合わせて関わる相手を選んでいた。全体交流の際には、見通しを基に題名、見出し、本文の順に『知りたいことにつながるのある言葉を探す』とよいことを捉えた。



「ダンゴムシの飼い方」という題名の資料は、世話の仕方について書いていそうだよ。
見出しを見ると、「飼育ケース」と書いてあるよ。そこを見てみよう。

振り返り

「何を振り返るとよかったかな」と問いかけ、「**分かった、できた理由（学び方）を振り返る**」という方法を想起できるようにすることで、振り返りカードを使い、今日調べて分かった、できたこととその理由を振り返る姿が見られた。そして、課題解決中につけたチェックを基に、友達と関わったことで、課題解決ができたり、自分の答えに自信をもつことができたりしたと感じている姿を価値付けることで協働するよさを感じ、次の時間も友達と一緒に課題解決をしようという意欲を高めていた。



〇〇さんのおかげで、「土を入れる」という言葉に気付けたよ。

考察（○：成果、▲：課題）

- 単元の目標に向けて、「知りたいことにつながるのある言葉を探す」という読みの技を使いながら題名→見出し→本文の順で資料を読み、見付けた知りたいことの答えを友達と伝え合うことができた。
- ▲ 交流の目的意識がはっきりしていなかったため、交流自体はできていたが、形式的なものになっていた。何のために友達と交流するのかをしっかりと共有し、子供にとって必要感のある交流になるようにすることが必要であった。

右のQRコードから、学習指導案や他の実践をご覧いただけます。

